令和４年度事業報告

我が国では、近年、気候変動の影響とされる記録的な台風や想定を超える降雨が頻発し、これまで経験しなかった河川の氾濫や浸水による深刻な被害が繰り返し発生している。

河川ポンプ等の内水排除施設は人々の生命、財産を浸水被害から守る河川管理施設として重要な役割を担っているが、近年、老朽施設が急増し、厳しい財政状況下にあっても適切な維持管理・更新の実施が求められている。さらに、被災地域等では新設を求めるニーズも増加している。一方、内水排除事業を担う施設管理者や関係民間企業においては熟練技術者不足、高齢化、人材確保難が深刻化し、事業体制の弱体化が懸念されている。

国土交通省では、これら河川機械設備の諸課題について社会資本整備審議会に諮り大更新時代の到来や気候変動の影響等に対応した設備のあり方についての答申を得て、これらの課題に対応する新たな取組みを進めている。

一方、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の流れはますます加速しており、河川ポンプ施設の建設・維持管理をはじめ、事業活動全般にわたるＤＸ推進により、上記の諸課題に対応した合理的、効率的な事業体制構築が求められている。

当協会の令和４年度事業では、これらの状況に対して、施設管理者等と連携を図りつつ、激甚化する水害への対応や施設老朽化対策等の課題への取組、河川ポンプ分野のＤＸ推進に向けた取組みなど、技術の向上、人材育成及び現場・関係者の支援に向けた活動を進め、国内のポンプ施設の合理的な建設・維持管理の実現に貢献することを目指した。具体的には、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を考慮しつつ、河川ポンプ施設技術の調査研究及び普及、河川ポンプ施設に関する技術者の養成、河川施設に関する広報活動等を柱として、以下のとおり事業を実施した。

また、公益目的支出計画に基づく事業は引き続き着実に実施している。

１．総会・理事会

１．１　令和４年度定時総会

令和４年５月２５日　令和４年度の定時総会を開催し次の議案について審議し承認された。

議案　　第１号議案　令和３年度事業報告の件
　　第２号議案　令和３年度決算報告の件
　　第３号議案　役員選任の件
報告　　公益目的支出計画実施報告書の報告

１．２　理事会

令和４年５月１０日
　令和４年度定時総会議案について審議決定した。
　令和４年度定時総会の招集方法について審議決定した。
　令和４年度運営委員７名を選出した。

令和４年５月２５日（定時総会後）

役員選任について審議決定した。

令和４年１１月２８日

令和４年度上半期事業及び予算執行について審議した。

令和５年度事業計画及び予算について審議決定した。

令和５年度委員会の設置について審議決定した。

令和５年度定時総会の日程について決定した。

２．　運営委員会

（１）理事会に提出する議案の企画・立案

協会運営の基本的事項の審議及び令和４年度の理事会に提出する案件の企画・立案を行った。

（２）協会活動のＤＸ推進に関する審議

協会の委員会活動においては、WEB会議併用方式を採用する等の取り組みを行った。

（３）その他協会運営に関する審議

① 災害への対応

東北、関東、北陸、中部、近畿、中国の各地方整備局及び北海道開発局と災害協定を締結しており、協定に基づき各地区の関係会員による実施体制を提出した。

また、協定に係る近畿地方整備局の災害対策に関する訓練に参加した。

② 意見交換会等の実施

ポンプ施設に関して、配置技術者、維持管理対応等の課題について国土交通省との意見交換を行った。

令和４年　　６月２３日　国土交通省本省
令和４年　１０月２５日　近畿地方整備局
令和４年　１１月１７日　九州地方整備局
令和４年　１２月　６日　国土交通省本省
令和４年　１２月２２日　中国地方整備局
令和５年　　１月３１日　北海道開発局

また、意見交換を踏まえ、河川ポンプの技術的特性の説明や協会の新規の取り組みについての検討を運営幹事会で実施した。

③ 技術者制度見直しに関する意見照会対応

令和 4 年 3 月～4 月に行われた国土交通省の技術者制度見直し案に関する意見照会に対し、監理技術者の兼任等に関して意見を提出した。

３．委員会

３．１　広報研修委員会

（１）機関誌「ぽんぷ」の発行

公益活動の一環として、機関誌「ぽんぷ」を年２回発行し、国土交通省、地方公

共団体、関係法人、会員等に配布している。

令和４年度は、水中ポンプの状態監視やポンプ設備改築後の経過報告、ＤＸによる現場の維持管理業務支援、新設機場の工事報告、国土交通省の技術開発報告等の記事を掲載した６８号を９月に、寒冷地機場の無水化、信頼性向上を図った設備更新、排水能力増強を図る改造工事等の記事を掲載した６９号を３月に、それぞれ2,050部発行した。

（２）ホームページの拡充

ホームページを活用し、行政機関や一般市民向けの河川ポンプ施設に関する広報の充実を図った。

（３）技術図書の刊行

「ポンプ施設の建設と管理」を刊行した。

（４）国・地方公共団体等の講習会、研修への協力

国土交通大学校、地方整備局等が実施する技術研修へ、講師派遣及び派遣準備を行った。

令和４年　　８月　３日　北陸地方整備局
令和４年　１０月２６日　水資源機構
令和４年　１１月１４日　東北地方整備局
令和４年　１１月１６日　国土交通大学校
令和４年　１１月２９日　九州地方整備局

（５）ポンプ施設技術講習会の実施

９月に全国５会場でポンプ施設技術講習会を実施した。

〔本講習会は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕

受講者数　１００名

（６）技術研修会等の実施

第２０回技術研究発表会をＷＥＢ配信により開催した。

機械モニタリングシステム、ポンプ設備工事における３Ｄモデルの活用事例、排水ポンプ用インバータ内蔵発電機、ポンプ設備の維持管理作業のＤＸ化に関する発表、並びに、外部講師を招き「インフラ分野のDXと河川機械設備のあり方について」の講演を行った。

〔本研究発表会は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕

令和４年１１月２５日
参加者数　１１７名

３．２　技術開発委員会

（１）既開発・導入技術のフォローアップ調査

ガスタービン等の既開発・導入技術についてフォローアップ調査を行った。

（２）河川ポンプ分野のＤＸ推進に資する調査、研究開発

河川ポンプ施設のＣＩＭ等の活用の情報収集、並びに河川ポンプ分野のＤＸ推進に向けての調査検討を行った。

（３）河川ポンプ施設に関するニーズに関する調査、課題解決に向けての検討
河川ポンプ施設の現場のニーズに関する調査を行うとともに、諸課題解決に向けての検討を行った。

３．３　規格調査委員会

（１）ポンプ施設に関する技術講習テキストの改訂検討
技術講習に用いている「ポンプ施設の建設と管理」の改訂を行った。

（２）国際交流の推進
海外の研究機関、行政機関との技術交流を検討したが、諸外国の新型コロナ感染状況によりＲ４年度の調査団派遣は中止した。

３．４　維持管理委員会

（１）操作技術向上検討会等の実施
排水機場の施設管理者及び操作員を対象とした操作技術向上検討会を２回開催した。
令和４年　　６月２４日　北海道開発局管内
令和４年　　７月２７日　兵庫県管内

（２）ポンプ施設の運転操作等の課題に関する検討
ポンプ施設の運転操作、点検・整備・修繕等にかかる課題として、安全確保の課題に関する事例収集、整理を実施した。

（３）河川ポンプ施設に関するデータ管理に関する検討
河川ポンプ総覧の基礎資料とするため既設ポンプ施設のデータ収集、整理の方策について検討を行った。

３．５　資格制度委員会
ポンプ施設管理技術者の資格制度について、今後の改善等について検討を行った。

４．ポンプ施設管理技術者の試験及び講習の実施

（１）令和４年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施
令和４年１０月３０日（日）、札幌、東京、名古屋、大阪、高松、福岡の全国６会場でポンプ施設管理技術者資格試験を実施した。
受験者数　２１７名（１級１０９名、２級１０８名）
合格者数　１３５名（１級６２名、２級７３名）

（２）令和４年度ポンプ施設管理技術者講習の実施
講習資料として「ポンプ施設管理技術者講習テキスト２０２２」を作成した。
令和４年５月に全国９会場でポンプ施設管理技術者講習を実施した。
〔本講習は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕
受講者数　６１２名

（３）ポンプ施設管理技術者に関する広報

ポンプ施設管理技術者制度の広報を行った。

（４）試験審査関係委員会

① 試験委員会
令和４年度資格試験の試験問題原案の作成、監修、採点等を行った。

② 審査委員会
令和４年度資格試験の試験問題及び合格基準等についての審議を行った。

５．受託業務

内水排除施設の維持管理技術並びに新技術の開発・導入等に関する調査・検討業務について、国土交通省からの７件の受託業務を実施した。